

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	33	—	事業名	保健体育・学校開放事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	-------------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	款	9	教育費
		施策の進め方	1	スポーツ活動の推進	項	5	保健体育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	—		目	1	保健体育費
		政策分類	—		大事業	5	学校開放事業
	その他（関係法令、要綱等）		—				
	事業開始の背景、経緯等		小学校の運動場、小中学校の体育館を学校が使用しない時に一般市民に開放して、市民にスポーツを行う場を提供する。				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 軽スポーツやファミリースポーツの普及およびレクリエーションスポーツ等の開催 年齢層にふさわしいスポーツ教室や健康づくり教室の開催や場の提供 競技スポーツの推進					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民（市内在住、在勤、在学の方で構成されている10名以上の登録チーム）					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が生涯にわたるスポーツに親しみ、健康と体力の維持増進を図ることを目的とする。					
	事業を 構成する 事務事業	① 学校開放事業	現状維持	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	予算			2,691	2,667	2,652
			決算			2,045	2,303	
	人件費(B)	千円	決算			2,825	3,048	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算			4,870	5,351	

成果 推移	成果指標		単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A	利用率	%	目標	—	85.0	85.0	80.0	81.0
				実績	—	74.9	73.6	78.0	
	B			目標					
				実績					
	C			目標					
				実績					
	【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
	A 利用率を高めることを目標とし、過去2年間の利用率平均＋5%を目指す。								
	B								
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) すべての近隣市において実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標の利用率80%に対して、実績は78.0%であった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 学校開放事業の小学校の運動場は、おもにスポーツ少年団の利用が多く、一般市民グループの利用が低い傾向がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 杣ヶ池体育館に「学校開放事業の利用の仕方」などの掲示板を設置して市民に対するPRを行い、利用率の向上を目指す。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 体育館の利用者が増加しているため、今後、開放日程の増加を検討していきたい。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

							事業名	保健体育・学校開放事業							
番号	①	事務事業名	学校開放事業			款	9	項	5	目	1	大事業	5	中事業	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		平成２７年度			終了（予定）年度		平成３６年度						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民（市内在住、在勤、在学の方で構成されている10名以上の登録チーム） 市立小中学校の体育館及び運動場を学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ及びレクリエーションに開放するもの
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康と体力の維持増進を図ることを目的とする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			2,691	2,667	2,652
		決算			2,045	2,303	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用率	%	目標	-	85.0	85.0	80.0	81.0
		実績	-	74.9	73.6	78.0	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

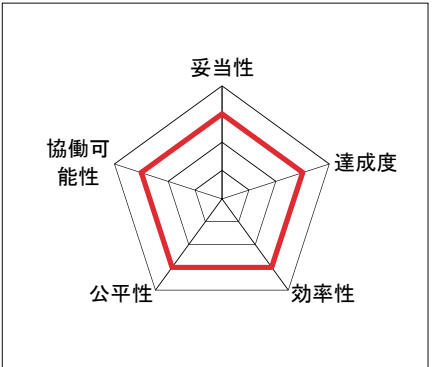
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
開放の日数を増加して欲しいと要望が増加してきた。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
杵ヶ池体育館に「利用の仕方」などの掲示板を設置して、市民に対するPRを行い利用率の向上を目指す。
(何をどのような状態に改善したのか)
上記のとおり杵ヶ池体育館に「利用の仕方」などの掲示板を設置して、市民に対するPRを行った。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康と体力の維持増進を図る目的に貢献できた。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
学校開放の曜日が決められているので、今後は、開放する曜日を拡充できると良い。

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
開放する日数を増加することを検討したい。